

二 年度図書館主催展覧会報告

早稲田大学図書館展示部会

早稲田大学図書館では、二年度、図書館内外において以下のような展覧会を催した。いずれも館蔵資料を中心としたものであり、学内のみならず、ひろく世界へ向けての情報発信の重要な一環として、きわめて大きな意義をもつものと位置づけている。今後もさまざまな意欲的な企画をすすめてゆきたい。

錦絵新聞展 明治初年の事件簿

明治七年から一年頃にかけて、日本の新聞史上に突然咲きくつた徒花のような「錦絵新聞」。おどろおどろしい錦絵と新聞記事を組み合わせた、今日のスクランダル・ジャーナリズムのさきがけともいうべきヴィジュアル・メディアに光をあてる。(五・一五～二八、展示室、一一・一一～一九、鴨川市立図書館) 鴨川市立図書館では伊能忠敬実測図を同時展観。

早稲田大学図書館所蔵 蘭学資料展

六・二二～七・一三、ボン大学付属計算機博物館、七・一八～八・六、ライデン大学図書館(本文参照)。

江戸・明治の広告展

遠州稲門会と早稲田大学が共催した「早稲田フェスタ in 遠州」の図書館参加企画として、西垣文庫所収の引札・ポスター・絵びら・看板などの商業広告資料を展示。二年前、オール早稲田文化週間でおこなった展示のリメイ

クヴァーリジョン。きわめて好評を得た（七・一～二 磐田市立図書館）。

早稲田大学図書館所蔵 日本文学資料展

E A J S (European Association for Japanese Studies) 第九回大会がフィンランド・ラハティ (Lathi) で開催されるにあたり、ヘルシンキ大学からの要請により早稲田大学図書館所蔵の日本文学資料14点を輸出展示。源氏物語、古今和歌集、徒然草、勝絵など。兼築信行副館長が往復携行。好評を得た（八・二一～二六 ラハティ市立図書館）。

早稲田大学図書館所蔵中国資料展覧会 中国史 五つの主題

日本、中国、台湾、韓国、欧米の中国史研究者が一堂に会する国際会議が早稲田大学を会場として行われることを記念し、館蔵の中国関係資料を「祭礼」「版図」「宗教」「文化」「革命」という五つの主題のもとに展示した。国宝の中国古写本「礼記」「玉篇」も陳列。（九・一四～三 展示室）。

小展示「本の扱いを大切に」

一月より研究図書の本を通年、学部学生へ貸出すこととなったのに鑑み、図書の扱い方について利用者の注意を喚起するため、乱暴な取扱いによって壊れた本、酸性紙劣化本などのサンプルを展示（一・二～三 二階入口付近）。

日本・オランダ修交四 年記念 蘭学資料展

ボン、ライデンでおこなった蘭学展の早稲田における展示（本文参照）。一・一七～二七 展示室。

早稲田大学図書館 新収資料展

主として一九九九年・二 年度に新たに収集した貴重資料約五 点を展示（二 一・一・二丁二・一五 展示室）。